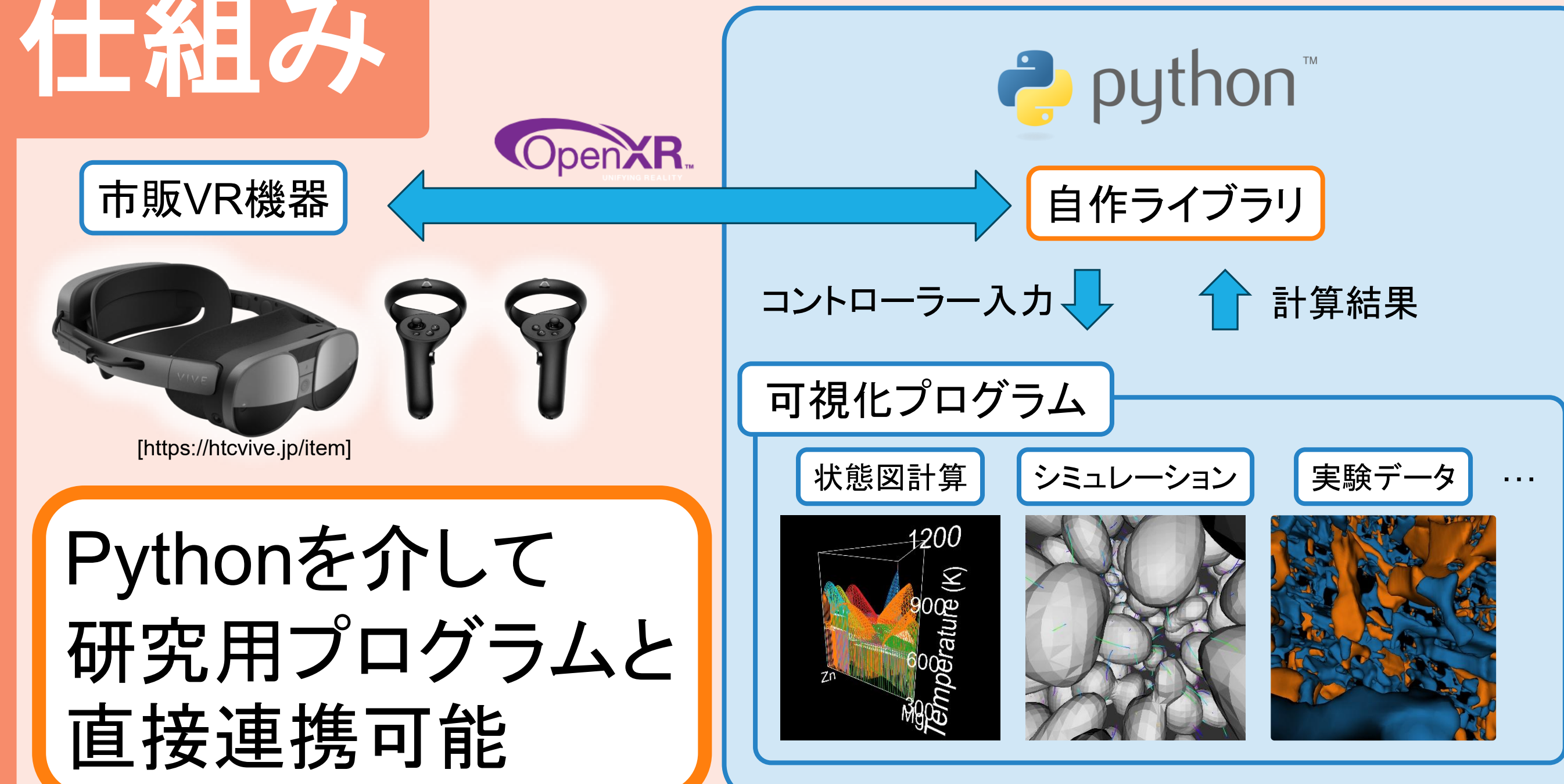


背景

科学研究における3Dデータ
利用機会の増加
3Dデータの可視化が重要に
仮想現実(VR)技術の普及

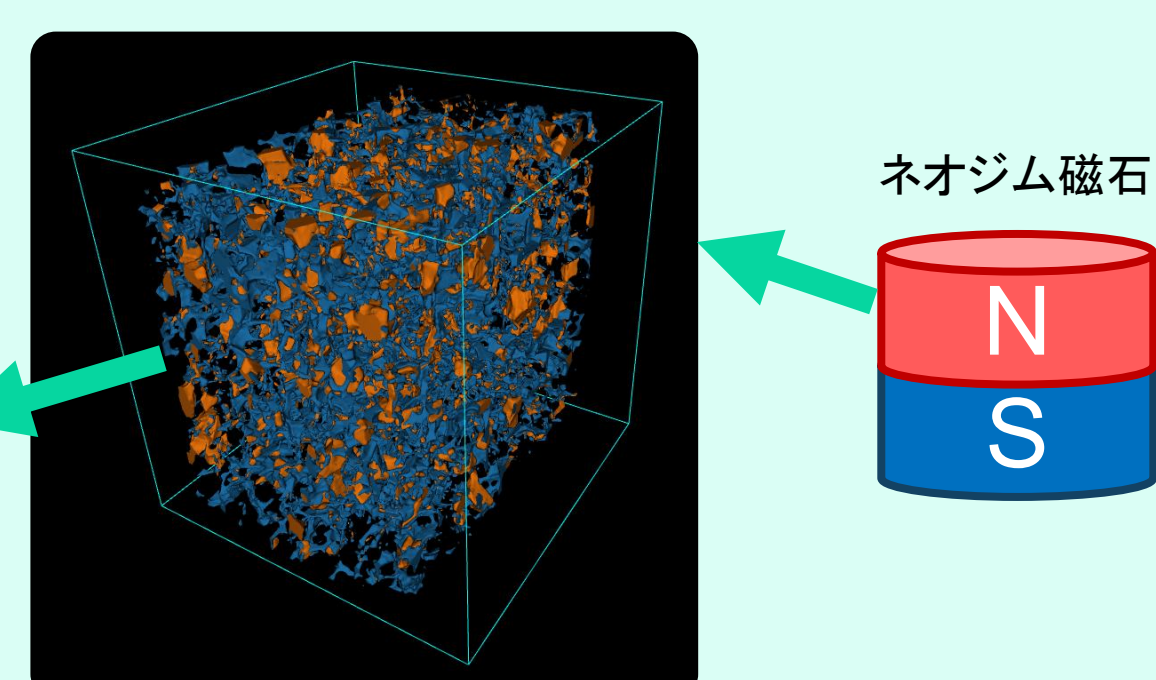
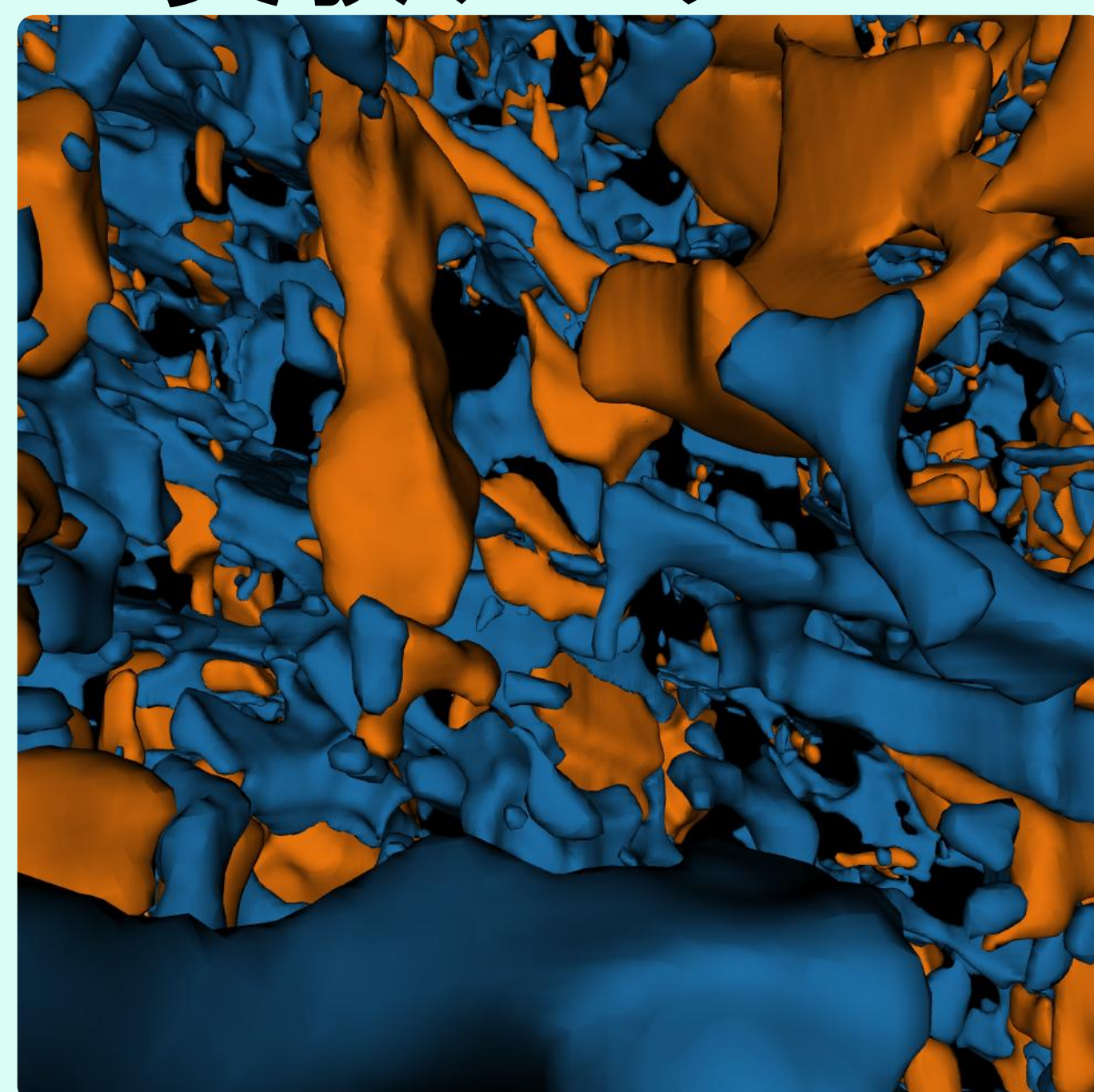
仮想現実(VR)を活用したPython製
科学データ可視化システムを開発

仕組み



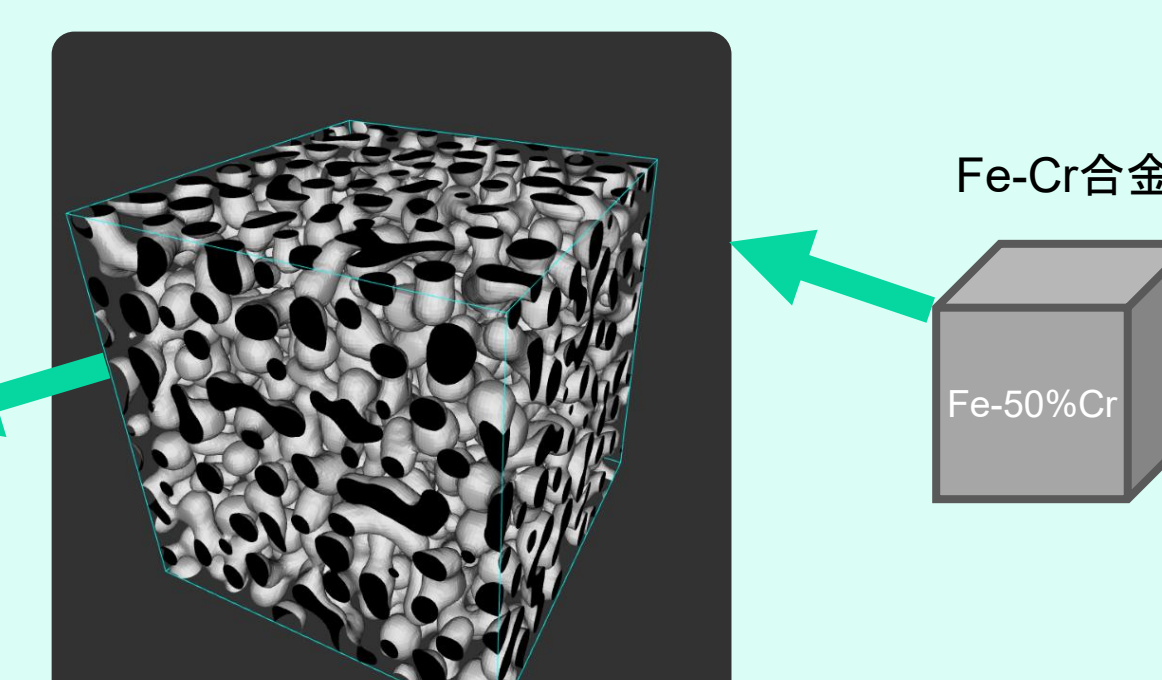
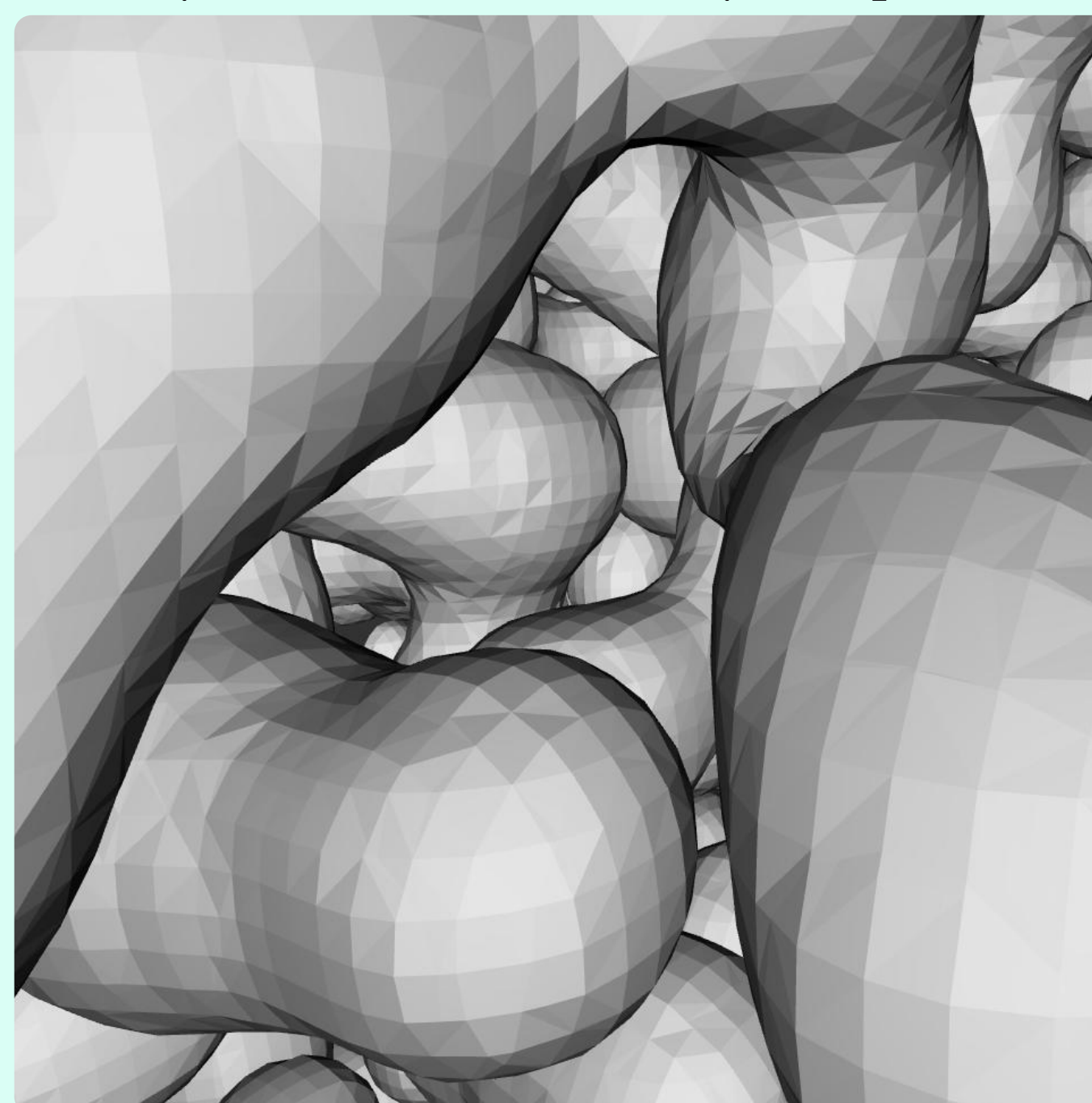
事例紹介(材料分野)

◆ 実験データ



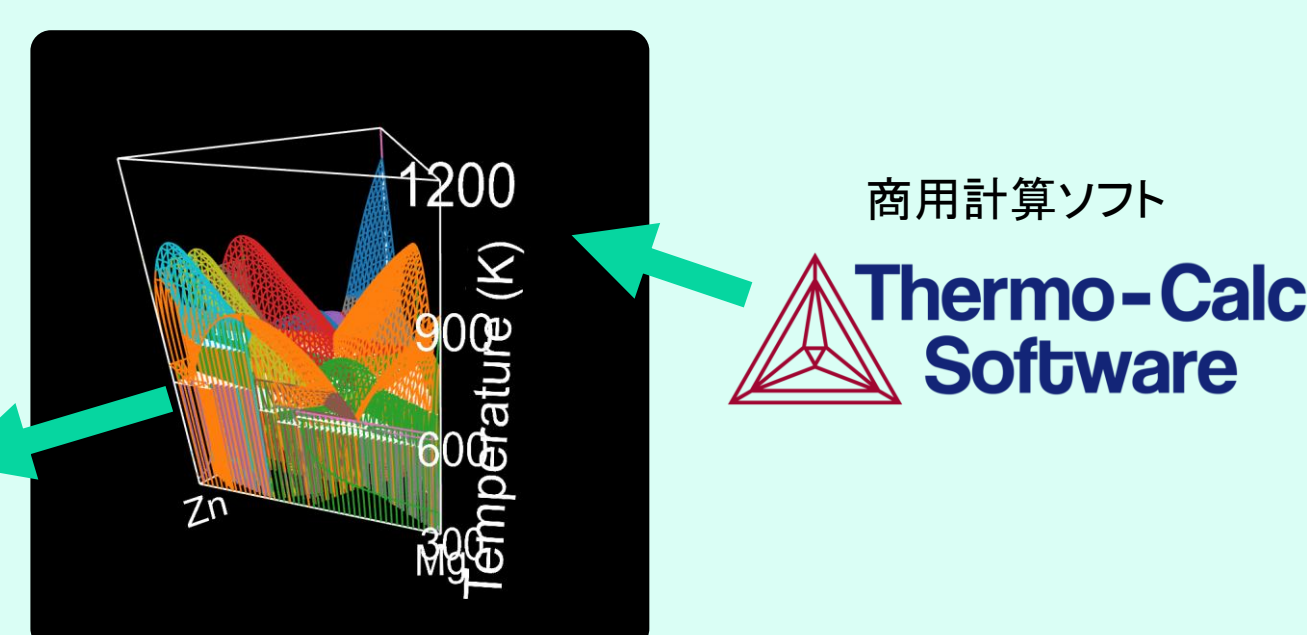
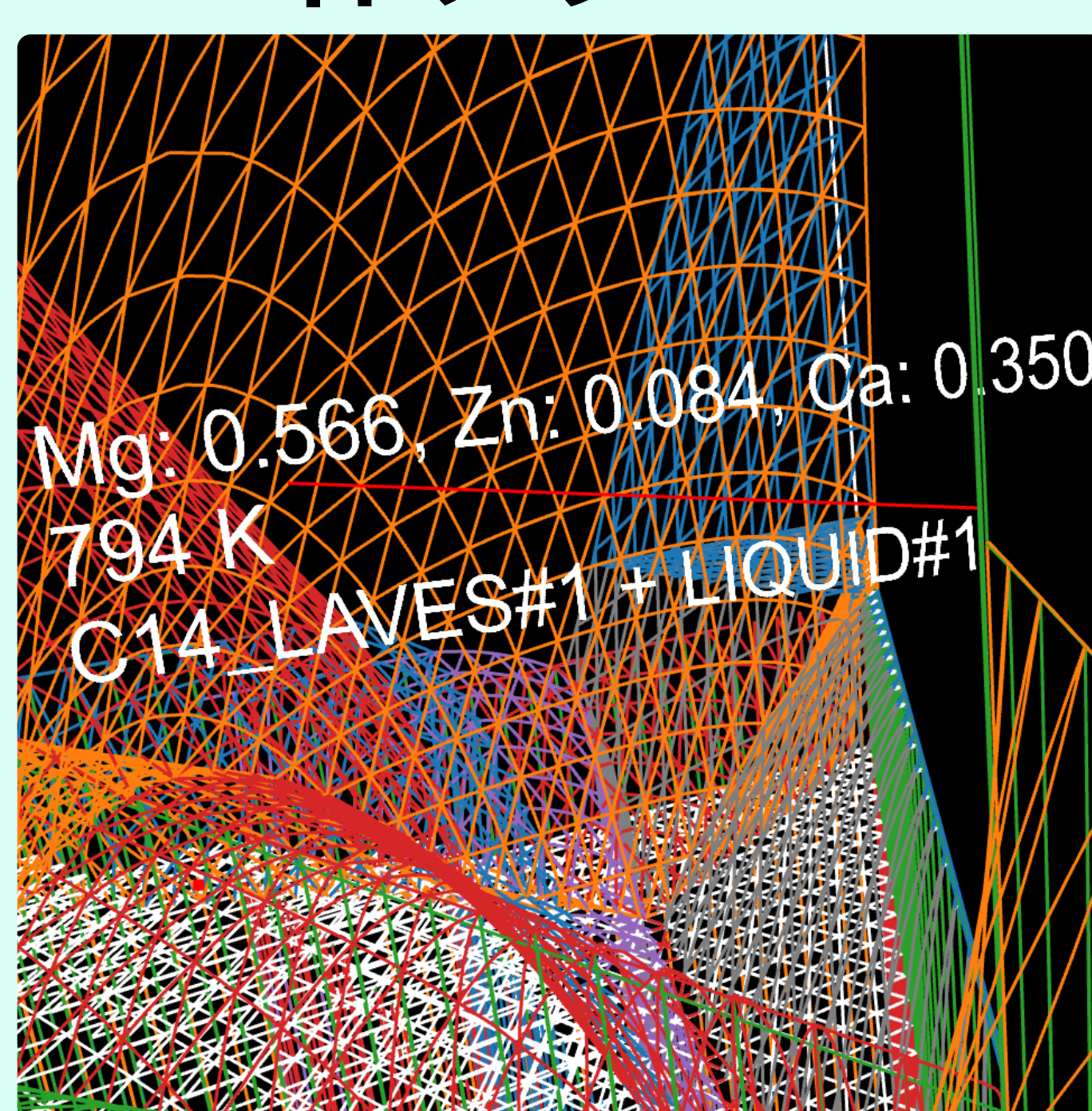
- 材料中の微細構造の観察データを可視化。
- 内部に入って詳細な構造を確認できるように。

◆ シミュレーション



- 材料中の微細構造シミュレーションをリアルタイム可視化。
- 計算結果をより詳細に確認することが可能に。

◆ 立体グラフ



- 「状態図」と呼ばれる立体グラフを可視化。
- 可視化に加えてオンデマンドの追加計算も可能に。

◆ 広報利用

NIMS
NATIONAL INSTITUTE FOR MATERIALS SCIENCE
一般公開2025



- NIMSの一般公開イベントにおいて一般の来場者に研究内容を視覚的に説明。

展開



<https://www.penguins.co.jp>

ペンギンシステム株式会社と提携

→ 本システムを利用した各種可視化ソフトの
受託開発が可能に。

先進技術企業展 ブースK-1 (多目的ホール)
で実機体験を実施中!

紹介動画



実際のVR映像を公開中